

新島 襄の言葉

本井 康博（大学嘱託講師）

「一人ヲ得、一人ト問答シ、一人ノ心ヲ開ク」

新島の題名不詳の説教草稿中の一句。前後を挙げれば、
「一人ヲ決シテ見過シテナラス、一人ヲ得、一人ト問答シ、
一人ノ心ヲ開クハ伝道上大切ノ事ナリ○大勢ノ前ニアリ
テ大喝一声人ヲ驚スノ演説ヲ為スハ多ハ荒コナシナリ○
真ノ働キハ却テ一個人ヲトクニシカス」（『新島襄全集』
II、三二三頁）。

「二人ハ大切」が新島の教育姿勢である（同前I、一〇
七頁）。新島のよき理解者、柏木義円も「戸毎に説き人毎
に諭す」のが新島の特徴、と捉える。この点、福沢諭吉
との差は大きい。

柏木は指摘する。福沢は、「戸毎に説き人毎に諭す」や
り方は迂遠のことと公言し、制度や組織に頼んでひとか
らげに（それこそ「荒コナシ」に！）機械的に社会を改
造しようとする。一方、新島は人毎に個々人の心霊を改
変し、それを聖め、高めるほかに真正な文明社会に至る
道はないと考えた、と（『上毛教界月報』一六）。

（写真は新島遺品庫資料「上六一一番」）

一人ハ大切